

年頭言「きばらんね、ヤング・ゼネレーション」

▶私の中学～高校時代の話になりますが、6キロほどの距離を毎日自転車通学していました。雨風にも負けず自転車通学のモチベーションを維持できたのは、1979年のアメリカ映画「Breaking away」の影響であることは間違いありません。今、この映画の内容を詳しく思い出せませんが、将来の夢を描けないまま高校を卒業した男子が、恋愛をきっかけに自転車レースへ出場することになり、努力と頑張りで栄光を勝ち取るという内容だったように思います。将来の見えない不安に怯える思春期の中学生（私）と映画の主人公の心情が共鳴したのです。努力は報われると信じた私は、主人公と同じようなドロップハンドルのロードバイクで通学し、さらには毎年自転車の100マイルレースに出場するようになりました。

▶このように私の通学に影響を与えたこの映画「Breaking Away」ですが、その邦文タイトルはなぜか「ヤング・ゼネレーション」でした。主人公の抱く不安や焦燥、そして恋愛観は若い世代に特有の経験であると考えれば「ヤング・ゼネレーション」は映画の内容を的確に表したタイトルとも言えます。

▶最近のメディアで、Z世代（Generation Z:Gen Z）という言葉がよく取り上げられます。Zは昭和生まれの私にとって特別なアルファベットです。故水木一郎さんの歌う巨大ロボットアニメ主題歌、川崎重工のバイク、日産のスポーツカー等々。Z世代は1990年代後半から2010年頃？（諸説あり）に生まれた世代を指すのだそうです。

▶世代とは同じ15～20年以内に生まれた人々のグループによって定義されるとの説があります。世代はそれぞれが世情を反映した世界観を形成し、

人々の時間的な変化を観察することができるのだそうです。米国South Florida UniversityがWEBに掲載している人材教育資料”Generational Differences Chart”では、世代をTraditionalists (1900-1945年生)、Baby Boomers (1946-1964年生)、Generation X (1965-1980年生)、Millennials/Generation Y (1977-1994年生) に分類しています。そして各世代の中心的価値観にはそれぞれ特徴があるようです。例えば、

- Traditionalists : ルール遵守、dedication(献身)、家族中心、stabilizing(安定)など
- Baby Boomer : なんでもできる、楽天主義、Spend now, worry later, Want to “make a difference”, など
- Generation X : バランス、多様性、Fun、高学歴、独立、地球的視野、科学技術リテラシーなど
- Millennials/Generation Y : 成果、Fun!, Now!, confidence, 高い道德感、street-smartなど

Generation Yの中心的価値観にある感嘆符は直感的で良いですね。

Generation Xである私自身の価値観はBoomerとクロスオーバーしているように自己評価しました。ヒトの価値観は時代の流れとともに自然かつシームレスに変貌を遂げるのだと達観すれば、ジェネレーション・ギャップと呼ばれるような溝は本当は無いのだろうと思います。

▶医療の土台となる医学的な技術と知識は時代とともに進化しているので、その時代を生きる医療従事者に世代ごとの特徴があるのは当然です。医学は新しい知見に置き換えられることでアップデートされてきたのではなく、新しい知見が歴史的に積み重ねられてきました。よって、ヤング・ジェネレーションが、過去の知見を踏まえた上で、新時代の新しい技術で新しいアイデアを、もがきあがきながらも、検証し続けられる環境や機会を提供するのが私の役割だと考えています。

▶正直なところ、私も悩み、考え過ぎて一歩が踏み出せないことがありました。そんな中、NHK教育テレビで放映された岡本太郎的特撮活劇TAROMANを視聴し、吹っ切ることができました。TAROMAN、おすすめですよ。